

ポジティブ心理学への招待：幸福と安寧の科学

講師：エドワード・ホフマン氏

日時：10月15日(水)10:00～12:00

場所：創思館 303・304教室

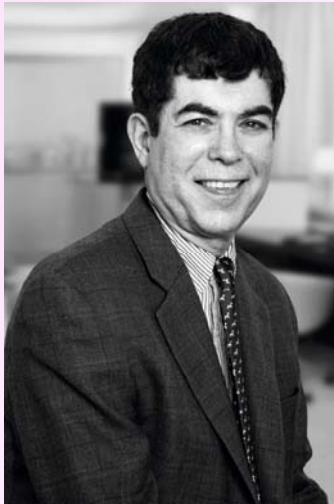
参加者：応用人間科学研究科の教員と院生、修了生、
応用人間科学研究科へ進学を検討している学生、社会人

参加を希望する人は申込書を
独立研究科事務室横ポスト④へ(締切10月8日(水))



ポジティブ心理学は、1998年、セリグマンによって創設され、米国を中心に研究推進されてきた。人間性心理学の流れをひき、個人や組織、社会のあり方が本来あるべき正しい方向に向かう状態に注目し、科学的に検証、実証を試みる心理学の一領域と定義されている。欧米を中心に急速に関心が高まり、2007年には学会が設立され、多くの大学や民間組織で授業が開講、近年では日本、中国、インドでも関心が広がり、経営学や政府レベルでも導入されている。講演では、ポジティブ心理学にいたる歴史的流れ、ポジティブ心理学の創造とその後の発展、ポジティブ心理学の4つの焦点について紹介する。

通訳：村本詔司(神戸市外国語大学名誉教授)



講師：エドワード・ホフマン博士

ニューヨーク、イェシヴァ大学心理学客員教授、臨床心理学者。人間性心理学やトランスパーソナル心理学の生みの親であるマズローやアドラーの研究で知られ、著書多数。邦訳のあるものとして、『真実の人間—マズローの生涯』(誠信書房)、『マズローの人間論』(ナカニシヤ出版)、『カバラー心理学』(人文書院)、『アドラーの生涯』(金子書房)、『子どもに伝える父親たちの知恵』『これから社会にできるきみへ—有名人が贈る60の勇気』(ともに草思社)などがある。近年はポジティブ心理学でも知られ、教科書“POSITIVE PSYCHOLOGY: THE SCIENCE OF HAPPINESS & FLOURISHING”を共著で出版し、大学におけるポジティブ心理学のコースを創設している。

<問い合わせ先> 独立研究科事務室

Tel 075-465-8375 Mail doku-ken@st.ritsumei.ac.jp

-----キリトリ-----

エドワード・ホフマン氏 講演会 申込書

学生証番号	名前

提出は独立研究科事務室横ポスト④へ(締切10/8)